

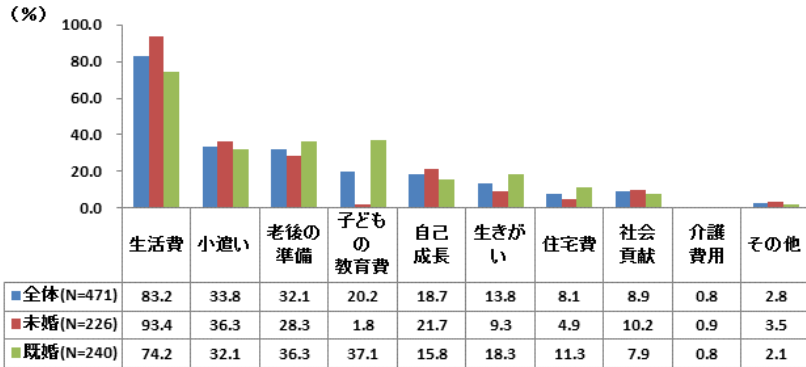
2018年働く女性に関するアンケート調査結果

2018.11 愛媛銀行 ひめぎん情報センター

【調査対象】	愛媛県内に勤務する女性 1,095人	【有効回答率】	43.0% (471人)
【調査時期】	2018年9月上旬	【調査方法】	愛媛県内支店にてお客様に配布、郵送返却
———回答者の構成———			
【平均年齢】	40.5歳	【勤続年数】	10年5ヵ月
【未既婚別】	未婚 48.0% 既婚 51.0% 無回答 1.0%	【平均年収】	265万6,000円
【就業形態】	正社員 61.6% 非正社員 37.8% 無回答 0.6%		
【職種】	会社員 80.5% (うち事務系 75.5%) 営業・販売 17.7% 製造・技術 4.0% 無回答 2.8%		
	公務員 7.2% その他 10.6% 無回答 1.7%		

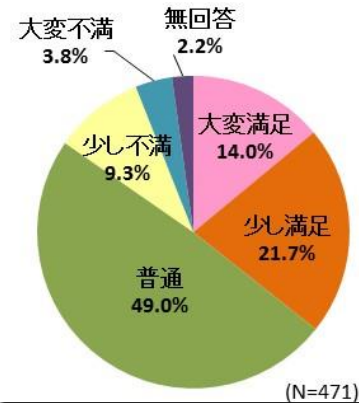
1. 働き方について

(1) 仕事の目的 (複数回答)



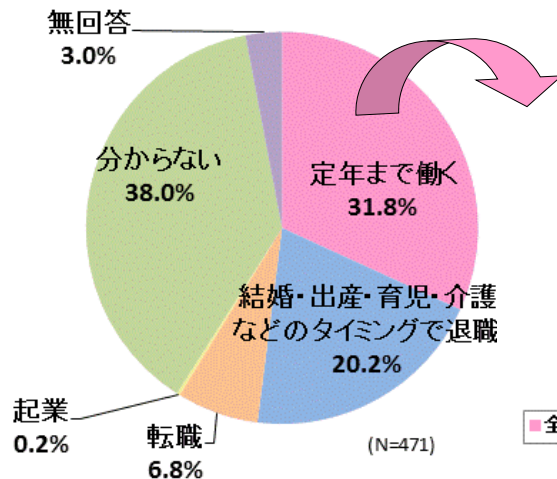
全体では、「生活費」が最も多く8割以上。次いで「小遣い」が3割以上を占めており、前回調査(2017年)第3位から第2位に。未婚は「小遣い」、既婚では「子どもの教育費」や「老後の準備」が多くみられた。

(2) 現在の仕事(職場)に対する満足度

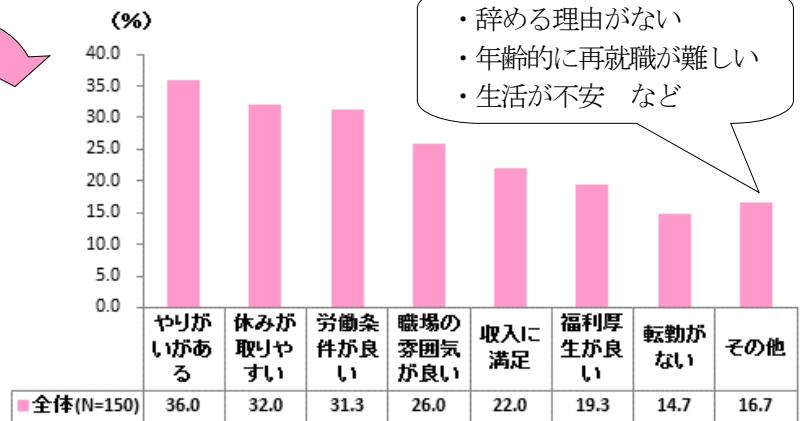


満足(「大変満足」+「少し満足」)は35.7%と、不満(「少し不満」+「大変不満」)の13.1%より多く、大きな不満を抱えながら仕事をしている人は少ない。

(3) 今後も現在の仕事を続けていく意思



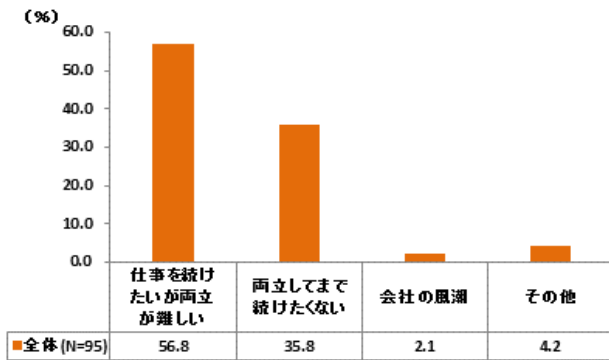
(4) 定年まで現在の職場で働きたい理由 (複数回答)



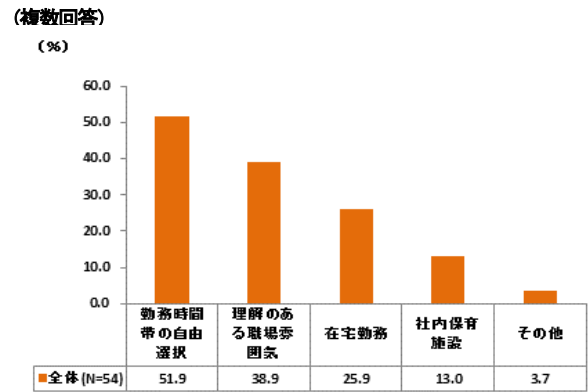
・今後も現在の仕事を続けていく意思があるかどうか「分らない」が最も多く38.0%だが、「定年まで働く」が前回より7.0ポイントの増加で、3割以上を占めている。

・「定年まで働く」と回答した人で、現在の職場で働きたい理由として多かったのが「やりがいがある」と「休みが取りやすい」、「労働条件が良い」がそれぞれ3割以上を占めている。仕事を長く続けるためには、精神面と職場環境等のバランスが取れていることが重要となってくるようだ。

(5) ((3)で「結婚・出産・育児・介護などのタイミングで退職」と回答した人のみ) 退職する理由 (複数回答)

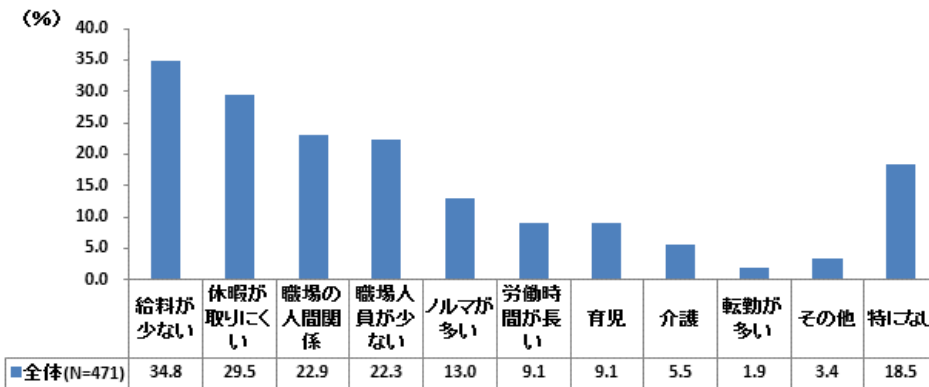


(6) ((5)で「仕事を続けたいが両立が難しい」と回答した人のみ) どのような環境があれば仕事を続けることができると思うか (複数回答)



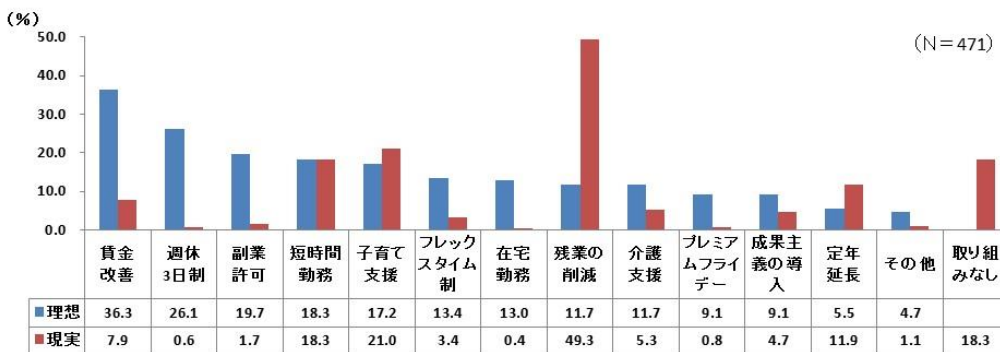
・退職する理由としては「仕事を続けたいが両立が難しい」が最も多く、56.8% (前回比+8.6ポイント)。「両立してまで続けたくない」は前回より8.1ポイント減少。
 両立が難しいと考えている人の中で、「勤務時間帯の自由選択」と「理解のある職場雰囲気」があれば仕事を続けていくことができると考えている人が多い。「在宅勤務」は前回より13.2ポイント増加。女性が長く仕事を続けていくには、職場環境の整備と働き方の多様性が求められる。

(7) 仕事を続けていく上での悩み (複数回答)



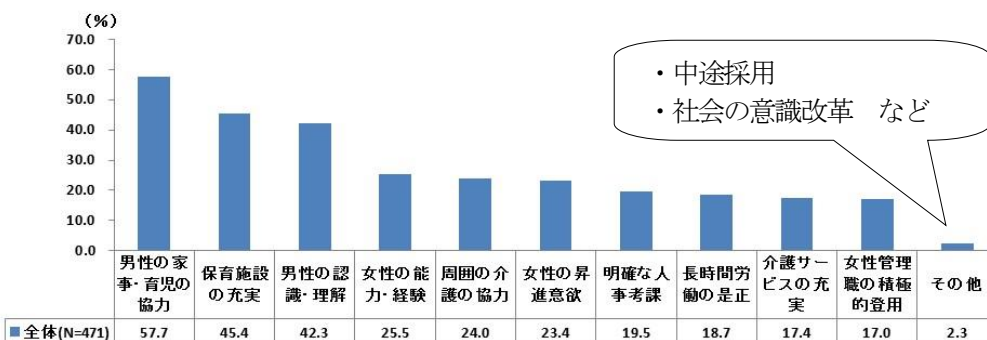
仕事上の悩みでは「給料が少ない」が最も多く、次いで、「休暇が取りにくい」「職場の人間関係」と続いている。
 仕事のモチベーションには給料や休暇、職場環境などが関わってくることが伺える。

(8) 職場にあったらいいと思う制度・働き方と職場で実際に取り組みされている制度・働き方 (複数回答)



理想としては「賃金改善」や「週休3日制」を望んでいる人が多く、現実としては「残業の削減」の実施が多い。理想の「副業許可」(19.7%)は前回第8位から第3位に。
 職場に求めていることと職場の現状とのギャップが伺える。

(9) 「女性活躍」を進めるために必要だと思うこと (複数回答)

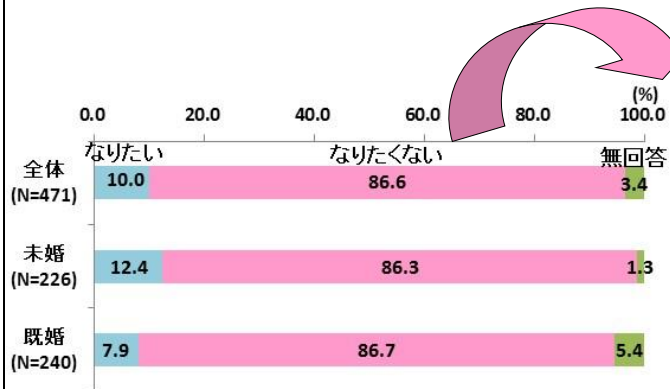


・中途採用
 ・社会の意識改革 など

「男性の家事・育児の協力」が最も多く半数以上。「男性の認識・理解」も4割以上を占め、女性活躍のためには男性のサポートが欠かせないと感じている人が多い。

【新設項目】

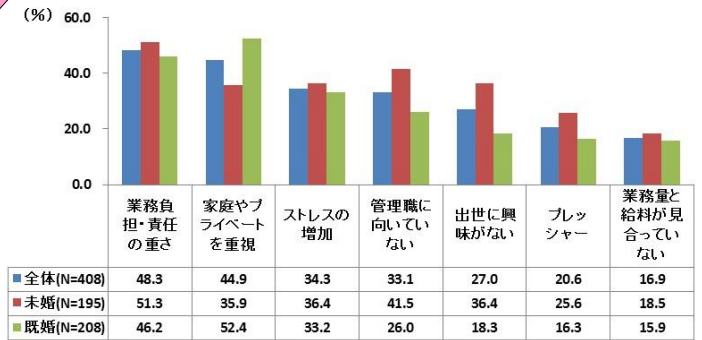
(10) 管理職になりたいと思いますか？



管理職に「なりたくない」と思っている人のほうが多く、未既婚共に8割以上を占めている。

(11) ((10)「なりたくない」と回答した人のみ)

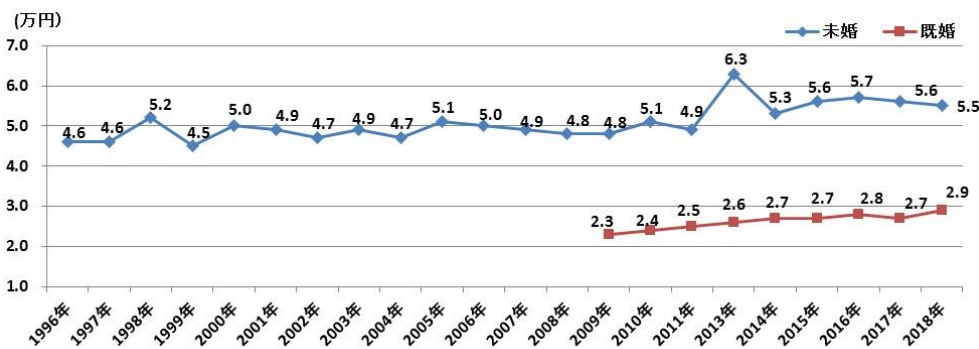
管理職になりたくない理由は？ (複数回答)



管理職に「なりたくない」理由は、全体では「業務負担・責任の重さ」が最も多く、次いで「家庭やプライベートを重視」、「ストレスの増加」。
未婚者では「管理職に向いていない」、「出世に興味がない」など意識的な理由も多い。
→女性管理職を増やすためには、働く環境だけではなく、女性の意識改革も重要となってくる。

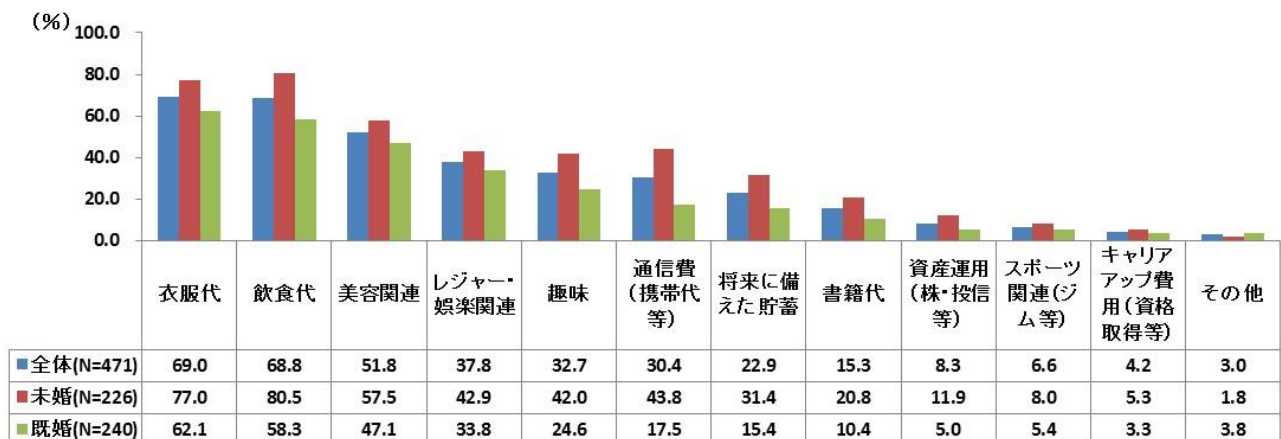
2. マネー感覚について

(1) 月々の小遣い



未婚は前回より小遣いが1,000円減少。既婚は前回より2,000円増加。

(2) 小遣いの使い道 (複数回答)



全体で上位3項目は「衣服代」(前回比+2.3ポイント)、「飲食代」(同+2.9ポイント)、「美容関連」(同+4.3ポイント)と、順位は前回から変わらずだが、割合はそれぞれ増加。

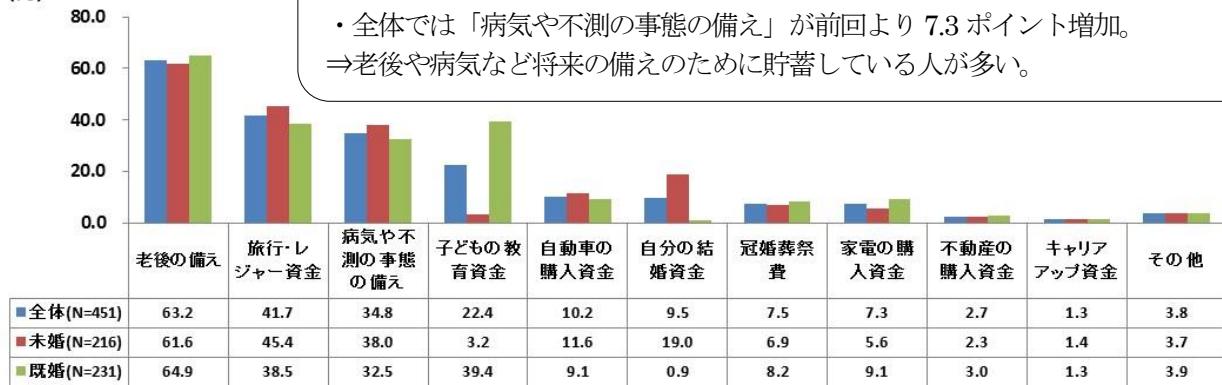
(3) 貯蓄のタイプ

	全体	未婚	既婚
①毎月定額を貯蓄	37.4%	36.3%	38.8%
②毎月定額かつボーナス月には増額	20.0%	21.7%	18.8%
③ボーナス月のみ貯蓄	7.0%	4.4%	9.6%
④定額ではなく余った分を貯蓄	31.0%	35.0%	26.7%
⑤貯蓄していない	4.2%	4.4%	3.8%



(4) 貯蓄の目的

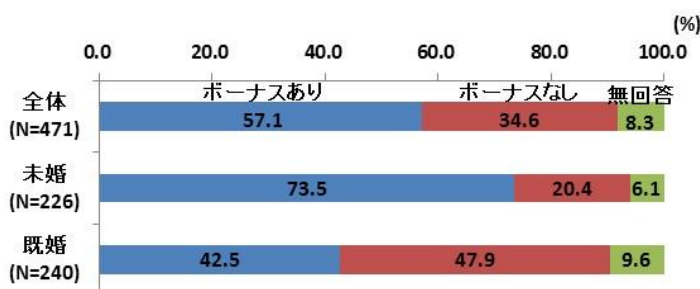
(%)



・「老後の備え」が最も多く、全体では前回より 5.1 ポイント、未婚 9.1 ポイント、既婚 1.4 ポイント増加。
 ・全体では「病気や不測の事態の備え」が前回より 7.3 ポイント増加。
 ⇒老後や病気など将来の備えのために貯蓄している人が多い。

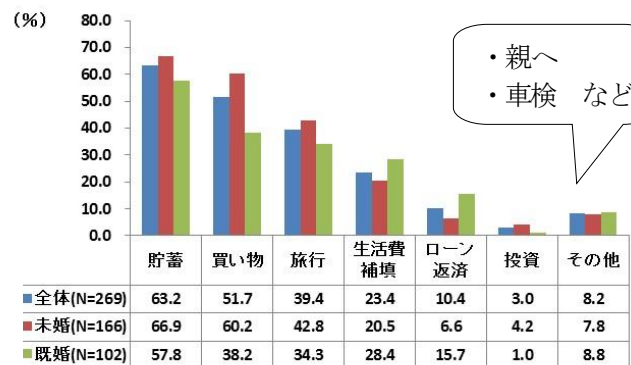
3. ボーナスについて

(1) 2018年夏のボーナス支給



・2018年夏のボーナスが「ある」人は全体で 57.1%

(2) 2018年夏のボーナスの使い道



・全体で「貯蓄」は前回より 5.8 ポイント増加。
 ・「旅行」は、未婚 (前回比+4.4 ポイント)、既婚 (同+11.9 ポイント) 共に前回より増加。⇒消費意欲が垣間見える。

●女性が仕事を長く続けるためには、「やりがい」などの精神面だけでなく、「給料」や「休暇」などの職場環境等も整えていくことが重要。また、「在宅勤務」や「副業許可」など、働き方の多様性も求められている。
 ⇒企業としては、個々人の仕事へのモチベーションを高めるためには何が必要なのかを考えていく必要がある。

●ボーナスを旅行に使う人が増加傾向にあるなど、消費意欲の高まりが少しずつ見えてきている。

●依然として、老後への関心は高く、将来に対する備えへの意識が高い人が多い。

⇒お小遣いやボーナスなど使う時には使いつつも、将来への備えのためにと貯蓄をしっかりとしている人も多く、堅実な人がまだまだ多い。